様式３(2015.06改)

作成日　平成31年2月6日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375000086
事業所名	グループホーム嬉楽家

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	毎年、地域の小･中学校の生徒の訪問を受け、生徒の準備したゲームや歌を利用者と共に楽しんでいる。 地域交流を目的とした恒例の餅つき大会は、地域から多くの参加を得て、利用者、家族を交え交流している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	年6回開催の運営推進会議は、複数の家族、地域、行政の参加を得ている。 事故、活動報告に加え、参加者も地域の情報提供や意見を積極的に表しており、家族要望の利用者の訪問者開示を実践に反映している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	管理者は手続き、報告に市を訪ね、協力、連携する関係を築いている。 ホームは市の企画する地域密着型ホームの見学バスツアーのコースとして協力し、市主導の同業事業者の交流会に参加して情報を交換している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	ホームの日帰りバス旅行、餅つき大会、流しそうめんに家族の参加を勧めて交流の機会とし、気兼ねなく意見の言える関係を築いている。 家族からの「利用者の訪問者開示」の要望を受け、速やかに対応している。 協力的な家族が多いのも、ホームの特徴である。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	